

平成19年4月11日

各位

東京都港区虎ノ門2丁目10番1号

新日鉱グループ

 **日鉱金属株式会社**

金属加工カンパニー

平成19年上期の金属加工製品の生産予定について

品目	単位	平成19年上期 生産予定	平成18年下期 生産実績見込	平成18年上期 生産実績
伸銅品	t/期 (t/月)	19,560 (3,260)	19,620 (3,270)	21,252 (3,542)
特殊鋼 製品	t/期 (t/月)	1,680 (280)	1,500 (250)	2,532 (422)
合計	t/期 (t/月)	21,240 (3,540)	21,120 (3,520)	23,784 (3,964)
(参考) 製品長さ計	万m/期 (万m/月)	3,540 (590)	3,300 (550)	3,720 (620)

【解説】伸銅品については、18年年末以降、一部携帯電話等の情報通信機器、パソコン等IT機器向けで、在庫調整の影響により若干の落ち込みが見られました。19年上期は、調整局面から緩やかに回復していく見通しであり、上期通期では前期同水準の販売継続を見込んでおります。マーケットは、素材価格の上昇による省材化や最終電子部品の小型化の動きが強まる傾向にある中、一層の薄肉化を指向しており、強度、屈曲性等を高バランスで兼ね備えた材料への要求が強まってきております。当社のりん青銅・チタン銅に代表される『ハイパーシリーズ』、特殊圧延銅箔、コルソン合金は、それらの要求品質を備えており、今後、更に伸ばしていくものと見込まれます。

一方、特殊鋼製品については、ブラウン管からFPDへの置き換えが進む中、ブラウン管向け素材（シャドウマスク用アンバー材、電子銃用ステンレス材）については、需要減となるものの、開発を進めてきた高機能ステンレス材の拡販により、前期並の生産を計画しております。

この結果、金属加工製品全体では、前期並の21,240 t/期の計画となりました。

以上

お問い合わせ先： 日鉱金属株式会社
総務部総務担当 河田， 檜崎
TEL：03-5573-7223